

天神川流域下水道

天神浄化センター

植栽維持管理業務委託その2

仕 様 書

令和7年度

公益財団法人鳥取県天神川流域下水道公社

(適用の範囲)

第1条 本委託業務は、この仕様書及び別添特記仕様書に従い施工しなければならない。

(目的)

第2条 本委託業務は、天神浄化センターの植栽に対しての機能保持を図るものである。

(業務概要)

第3条 業務の概要は、次の表のとおりとし、天神浄化センターの植栽に対し、剪定、防除等を計画的に実施し、年間を通じた維持管理を行うものとする。

① 剪定	
対 象 樹 木	高木 21本(管理棟正面丘陵地(クロマツ、ヤマモモ等) 中木 8本(管理棟正面丘陵地(ツバキ、モッコク等) 低木 寄植 819㎡(ヒラドツツジ、アベリア、アジサイ等)
回 数	1回/年
内 容	高中低木の剪定刈込(特記仕様書2-2参照)
②防除	
1 薬剤防除	
対 象 樹 木	高木 145本(クロマツ以外の高木) 中木 4本 低木 819㎡
回 数	高中木 2回/年、低木 4回/年
内 容	殺虫剤と殺菌剤の混合液散布(特記仕様書2-3参照)
2 松くい虫防除	
対 象 樹 木	高木 8本(クロマツ)
回 数	2回/年
内 容	水溶液散布(特記仕様書2-4参照)
③除草	
対 象 範 囲	低木植栽地及びその外周1mの範囲を除く植栽面積と管理棟南側斜面。
回 数	1回/年
内 容	除草(特記仕様書2-5参照)

(提出書類)

第4条 本業務に関する提出書類は、次のとおりとする。

- | | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 1 業務責任者選任通知書
(業務責任者経歴書添付のこと。) | 2 委託業務実施計画書
(業務概要、業務日程表、業務体制表等) |
| 3 材料使用承諾願 | 4 材料搬入検査申請書 |
| 5 業務週報 | 6 業務写真帳 |
| 7 業務完了通知書 | 8 その他、必要と認められた書類 |

(施工)

第5条 本委託業務の施工に当たっては、次のことを遵守しなければならない。

- 1 施工に当たっては、その都度1級又は2級造園技能士を常駐させなければならない。
- 2 各工種ごとの実施の時期その方法等については、その都度監督員と協議の上実施すること。

(その他)

第6条 仕様書等に定める事項について疑義を生じた場合又は、仕様書等に定めのない場合は監督員と協議の上これを定める。

天神川流域下水道

天神浄化センター

植栽維持管理業務委託その2

特 記 仕 様 書

令和7年度

公益財団法人鳥取県天神川流域下水道公社

1節 一般事項

1-1 適用の範囲

高木、中木、低木の管理業務委託に適用する。

1-2 対象植物への配慮

対象となる植物の特性、当該管理業務の目的及び当該管理業務が対象に及ぼす影響の強さ等を十分理解し、特に生き物としての植物に対する細心の注意と愛情をもって努めるものとする。

1-3 材料

この業務委託に使用する材料は、特に指定のない限り、標準品又はそれと同等以上のものを使用するものとする。

1-4 見本業務の提示

業務の種類、規模の大きさ等により必要な場合は当該管理業務委託に先立ち見本となる業務を行い監督員の承諾をえること。（事前協議）

1-5 後片付け

この業務委託により発生する剪定くず等残材の処分については、当該業務（工種）前に監督員と協議し、指定場所、方法により処分するものとする。

1-6 業務委託の着手及び完了

本業務施工に当たっての個々の工種施工については、業務（工種）の着工、完了に特に注意し、完了（工種ごと）した場合はその都度監督員の完了の確認を申し出るものとする。

1-7 連絡協調

本業務委託は、天候に左右される要素が強く、また浄化センター内での業務に支障を与える事は避けなければならない。このため監督員と連絡協調し、良好な業務遂行を図らなければならない。

2節 樹木管理

2-1 適用範囲

この節は、樹木等の維持管理業務に適用する。

2-2 剪定

1 適用樹木

剪定数量内訳書記載の高木、中木及び低木。

2 剪定対象とする枝

- (1) 成長の止まった弱小枝
- (2) 著しく病虫害に侵された枝
- (3) 通風、採光、架線、人車通行を阻害する枝
- (4) 折損により危険な枝
- (5) 生育上の不要枝

イ やぶ

ロ 幹ぶき

ハ 飛び枝

ニ からみ枝

ホ 逆上枝

ヘ きり枝

ト ふところ枝

チ その他(くるま枝、立枝等)

3 方法

(1) 一般事項

イ 剪定方法には、枝おろし、枝すかし、ふところすかし、枝づめ、枝はさみ、枝うち、枝かき等があるが、それぞれ樹種、形状及び目的に応じ最も適切な方法により行う。

ロ 樹姿及び樹形の仕立て方は原則として自然形仕立てとする。

ハ 樹木は原則として外芽のすぐ上で切る。ただし、ヤナギ等のしだれものは内芽で切る。

ニ 樹木の南側は比較的強く、北側は比較的弱く剪定する。一般に樹勢の強い部分は強く、弱い部分は弱く剪定する。

ホ 花木類の剪定は原則として落下後に行う。

ヘ サクラ類は、不要な枝を剪定し、トップジンMペースト等で処理を行う。

(2) 小枝の切り方

小枝は原則として節のすぐ上で、かつ芽のついている側の上の部分から反対側に向かって斜めに切り上げる。若木以外は節間で切らない。

(3) 大枝の切り方

大枝の切り方は切り直しとする。

4 低木剪定、生け垣剪定

植生の状況に応じ低刈り込み、大刈り込み、生け垣刈り込みを行う。

2-3 薬剤防除

1 適用樹木

防除数量内訳書のとおり

2 方法

一般事項

- イ 薬剤の使用に際しては、農薬取締法(昭和23年、法律第82号)等の農薬関連法規並びにメーカー等で定める使用安全基準及び使用方法を遵守し、人畜の安全に十分注意すること。
- ロ 実施に先立ち、対象樹木の種類、病気、害虫、使用薬剤、薬剤の使用方法及び実施日、天候の状況等につき監督員と十分協議し実施すること。
- ハ 使用日は、天候の不順な日は避けること。風のある場合の散布については風上から散布すること。また、対象物以外への飛散防止を心掛けること。
- ニ 使用の時刻は真夏は日中を避け、なるべく朝夕に散布すること。
- ホ 散布は、原則として葉から30～40cm離れて行う。
- ヘ 散布量は所定濃度のものを葉面に細かい水滴が付く程度とする。
- ト 吸収口をもった害虫を対象に行う場合は害虫に直接散布する。
- チ 上記によりがたい場合の施工方法については監督員と協議のうえ実施すること。
- リ 使用機器及び薬品の保管については事前事後を通じ十分注意し、作業終了後は遺漏なく速やかに片付ける。

2-4 松くい虫防除

1 適用樹木

クロマツ

2 方法

2-3薬剤防除イ〜リに準ずる。

2-5 除草

1 方法

- イ 除草は、年1回実施し、雑草の繁茂の状況により最適時期を選び施工すること。
- ロ 刈込みは、極力草丈低部分より行うこと。
(管理棟南側に電線管・コンクリートラフが有り注意のこと)
- ハ 刈草は、刈倒しとする。
- ニ 施工区域内の状況が変わった場合には、この場所と同等面積を他のセンター内用地に振替えるものとする。
- ホ 太陽光発電設備廻りの機械除草に於いて、肩掛式除草機等を使用する場合、防護板による小石等の飛散防止措置を行うこと。

3節 写真管理

3-1 管理写真の構成

1 業務写真の構成

管理写真の分類は次のとおりとする。

(1)業務着手前写真及び完成写真(工種別)

(2)業務施工中の出来形に関する写真

ア 業務施工中の写真(施工順序に沿い、特に明記できない箇所)

イ 一般写真(安全管理、準備工、使用機材)

(3)検収写真(各種材料検収)

(4)業務中の災害写真(被災前、中、後)

2 業務撮影要素

いつ : 撮影時期を明確にする。

どこで : どこで、どこを写したかを明確にする。

なにを : 何を撮影したかを明確にする。

3-2 一般事項

1 業務写真の大きさ及び色彩

(1)デジタルカメラの有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とする。縦横比は3:4程度とする。(100万画素程度～300万画素程度)

(2)写真はカラーとする。

2 撮影方法

(1)業務状況写真

施工中の状況、機械の組み合わせが把握できるよう撮影すること。

(2)その他一般

着手前、中、後の写真はできるだけ同一場所から撮影すること。

3 管理方法

写真は工種、施工の順序が分かるよう整理すること。

4 提出部数

提出部数は1部とする。

3-3 状況写真撮影要領

本工事の写真管理の実際は別添「状況写真撮影要領」によるものとする。

項 目 工 種			撮 影 時 期	確 認 事 項	撮 影 枚 数 等	撮 影 箇 所	摘 要
植 栽 維 持 管 理 業 務	剪 定		作業前、 作業中、 完了時	状況	3 種 9 枚	高木、中木、低木 1箇所	高木、中木、低木を撮影対象とする。
	防 除	病害虫薬剤散布	作業中	資材検収	2 種 11 枚	高木、中木、低木、サクラ 各1箇所	資材検収 1枚(一括搬入時) 高木、中木、サクラ2回 低木4回
		松くい虫薬剤散布	作業中	資材検収	2 種 3 枚	高木クロマツ 1箇所	資材検収 1枚(一括搬入時) クロマツ2回
	除 草		作業前、 作業中、 完了時	状況	3 種 6 枚	植栽地、管理棟南側斜面 各1箇所	植栽地、管理棟南側斜面を撮影対象とする。

状況写真撮影数量表

(令和7年度)

工種 撮影区分	植 栽 維 持 管 理 業 務			
	剪 定	防 除 (病 害 虫 防 除)	防 除 (松 く い 虫 防 除)	除 草
作業前状況	3 枚 高・中・低木 各1枚	—	—	2 枚 植栽地、管理棟南側 斜面 各1枚
作業中状況	3 枚 高・中・低木 各1枚	全数量散布 高・中木2回 各1枚、計4枚 { 高木、1箇所×2回 2枚 中木、1箇所×2回 2枚 低木4回 各1枚、計4枚 サクラ2回 各1枚、計2枚 計 10枚	2回各1枚 計 2枚	2 枚 植栽地、管理棟南側 斜面 各1枚
資材搬入検収	—	1 枚	1 枚	—
完成	3 枚	—	—	2 枚
計	9 枚	11 枚	3 枚	6 枚

剪定数量内訳書(令和7年度)

区分	高木					
管理棟正面丘陵地	クロマツ	3	ヤマモモ	1	オオシマザクラ	1
	マテバシイ	3	エンジュ	1	シイノキ	3
	ケヤキ	2	ヤブツバキ	3	イヌマキ	2
	エノキ	2				
合計	剪定	21	本			

区分	中木					
管理棟正面丘陵地	モッコク	2	ツバキ	6		
合計	剪定	8	本			

区分	低木(寄植)					
浄化センター西側	ヒラドツツジ	308	アベリア	314	アジサイ	357
	シャリンバイ	535	トベラ	100	マサキ	1,544
	施工数量	3,158	施工数量	819	m ²	
合計	剪定	819	m ²			

防除数量内訳書（令和7年度）

病虫害防除

1 高木防除対象数量 290 本

場所	クロマツ	オオシマザクラ	その他	計
浄化センター西側	8	35	110	153
計	8	35	110	153

対象数量内訳 ・クロマツ及びオオシマザクラを除いた高木防除数量（防除回数は年2回）

（高木全数量－クロマツ－オオシマザクラ）×防除回数2回/年＝ 110本×2回/年＝ 220 本

・高木オオシマザクラの防除数量（年2回）

35本×2回/年＝ 70 本

2 中木防除対象数量 8 本

場所	本数
浄化センター西側	4
計	4

防除数量（全中木）×防除回数2回/年＝ 4 本× 2 回/年＝ 8 本

3 低木防除対象数量 3,276 m²

場所	サツキツツシ	ヒラトツツシ	ボックスウッド	その他	合計本数	植栽面積
浄化センター西側	0本	308本	0本	2,850本	3,158本	819m ²
計	0本	308本	0本	2,850本	3,158本	819m ²

対象数量内訳 防除数量×防除回数4回/年＝ 819m²×4回/年＝ 3,276 m²

4 松くい虫防除数量（防除回数は年2回） 16 本

高木クロマツ×防除回数＝ 8本×2回/年＝ 16 本

除草数量内訳書(令和7年度)

項目 区画名(番号)	除草面積 (m ²)	算 定 式
浄化センター西側	4,833	植栽面積 6,189 m ² - 低木植栽面積 819 m ² × 0.9
管理棟正面丘陵地	4,649	植栽面積 6,286 m ² - 低木植栽面積 1,121 m ² × 0.9
遺跡西側丘陵地	3,776	植栽面積 4,834 m ² - 低木植栽面積 638 m ² × 0.9
遺跡付近	5,272	植栽面積 6,119 m ² - 低木植栽面積 261 m ² × 0.9
管理棟南側	2,155	6.0 × 88.0 + 1/2 × (88.0 × 12.0 + 43.0 × 15.5 + 43.0 × 17.0 + 21.5 × 19.5 + 10.0 × 26.5 + 8.5 × 15.5) × 0.995 ※基礎台及びバンドホール等が含まれている為、この面積を区画面積の0. 5%とする
合計	20,685	

樹 木 数 量 総 括 表

高木 : 樹高 3m以上

中木 : 樹高 1m以上3m未満

低木 : 樹高 1m未満

(令和7年度)

区分 番号	樹種 場所	高木	中木	低木	低木植栽面積	備 考
		(本)	(本)	(本)	(m ²)	
1	浄化センター 西側	153	4	3,158	819	No.1/2植栽樹木一覧表による
2	管理棟正面 丘陵地	338	107	3,647	1,121	No.1/2植栽樹木一覧表による
3	遺跡西側 丘陵地	97	52	3,248	638	No.2/2植栽樹木一覧表による
4	遺跡付近	86	96	5,317	261	No.2/2植栽樹木一覧表による
合計		674	259	15,370	2,839	

植栽樹木一覧表

(令和7年度)

(浄化センター西側 植栽面積 6,189 m²)

NO. 1/2

高 木						中 木						低 木					
記号	樹 名	H	W	C	本数	記号	樹 名	H	W	C	本数	記号	樹 名	H	W	C	本数
H	オオシマサクラ	4.5	3.7	0.39	35	P	マテハシイ	2.5	1.5	0.30	3		アヘリア	0.6	0.4		314
J	クロマツ	5.0	2.6	0.41	8	L	シイノキ	2.2	1.5	0.42	1		ヒトツツジ	0.5	0.5		308
L	シイノキ	3.9	2.8	0.47	4								アジサイ	0.5			357
M	ナンキンハゼ	4.5	2.7	0.48	8								シャリンバイ	0.5	0.4		535
P	マテハシイ	4.3	3.6	0.38	82								トベラ	0.5	0.4		100
Q	ヤブツバキ	3.7	2.2	0.33	15								マサキ	0.95	0.4		1,544
R	ヤマモモ	4.0	1.5	0.40	1												
計					153	計					4	計	(植栽面積	819	m ²)		3,158

(管理棟正面丘陵地 植栽面積 6,286 m²)

高 木						中 木						低 木					
記号	樹 名	H	W	C	本数	記号	樹 名	H	W	C	本数	記号	樹 名	H	W	C	本数
J	クロマツ	4.8	2.1	0.38	45	M	ヤブツバキ	2.7	1.3	0.17	20		ヒトツツジ	0.5	0.5		120
R	ヤマモモ	3.3~4.0	1.8~2.3	0.22~0.37	12	H	トウシュロ	4.1		0.35	38		ヒトツツジ	0.3	0.3		522
H	オオシマサクラ	5.3	2.9	0.40	34	G	ツバキ	2.5	1.5	0.17	33		玉ツゲ	0.5	0.5		167
P	マテハシイ	4.6~4.7	2.3~2.5	0.41~0.47	52	R	ヤマモモ	2.3	1.3	0.17	1		アヘリア	0.5	0.3		60
G	エンジュ	5.1	2.0	0.41	27	L	モッコク	2.7	1.6	0.15	15		シャリンバイ	0.5	0.4		120
L	シイノキ	3.2	2.0	0.42	29								トベラ	0.5	0.4		60
K	ケヤキ	5.1	2.1	0.52	34								ハマヒサカキ	0.5	0.4		50
I	キョリュウ	4.5	1.9	0.43	6								アジサイ	0.5			332
Q	ヤブツバキ	3.9	1.4	0.24	30								コデマリ	0.5	0.3		198
M	ヤブツバキ	3.9	1.4	0.24	13								レンギョウ	0.5	0.3		325
S	モチノキ	3.9	1.6	0.28	17								ハギ		5芽調整物		246
D	イヌマキ	3.7	1.0	0.26	16								ハクチョウゲ	0.3	0.2		395
F	エノキ	4.9	2.2	0.47	23								マサキ	0.95	0.4		1,052
計					338	計					107	計	(植栽面積	1,121	m ²)		3,647

植栽樹木一覧表

(令和7年度)

(遺跡西側丘陵地 植栽面積

4,834 m²)

NO. 2/2

高 木						中 木						低 木					
記号	樹 名	H	W	C	本数	記号	樹 名	H	W	C	本数	記号	樹 名	H	W	C	本数
P	マテバシイ	3.5~4.7	2.3~2.6	0.32~0.45	27	D	サザンカ	2.7	1.6	0.15	19		ハマヒサカキ	0.5	0.6		5
F	エノキ	4.5	2.0	0.42	3	P	マテバシイ	2.5	1.5~1.8	0.13~0.3	1		ヒラトツツジ	0.5	0.5		728
H	オオシマザクラ	4.0	2.7	0.31	8	G	ツバキ	2.3	1.5	0.12	12		玉ツゲ	0.5	0.5		100
J	クロマツ	4.4~4.5	2.2	0.44~0.45	6	A	ウハメガシ	2.8	2.7	0.29	4		シャリンバイ	0.5	0.4		500
Q	ヤブツバキ	3.6	1.5	0.25	9	H	トウシュロ	3.4		0.43	6		トベラ	0.5	0.4		280
K	ケヤキ	4.4	2.3	0.43	9	L	モッコク	2.6	1.6	0.17	4		サツキツツジ	0.2	0.3		87
G	エンジュ	5.1	2.3	0.38	4	R	ヤマモモ	2.7	1.6	0.16	2		ハクチョウゲ	0.3	0.2		168
I	キョリュウ	4.1	2.0	0.32	3	M	ヤブツバキ	2.5	1.6	0.28	4		アジサイ	0.5			590
R	ヤマモモ	4.0	2.1	0.56	1								コデマリ	0.5	0.3		50
L	シイノキ	3.7	1.9	0.42	12								レンギョウ	0.5	0.3		180
S	モチノキ	3.8	1.8	0.35	6								ウツキ類	0.5	0.3		200
D	イヌマキ	3.5	1.4	0.20	3								マサキ	0.95	0.4		360
E	ウハメガシ	3.1	2.6	0.28	6												
計					97	計					52	計	(植栽面積	638	m ²)		3,248

(遺跡付近 植栽面積

6,119 m²)

高 木						中 木						低 木					
記号	樹 名	H	W	C	本数	記号	樹 名	H	W	C	本数	記号	樹 名	H	W	C	本数
A	アオギリ	5.4	2.4	0.33	10	A	ウハメガシ	2.4	1.7	0.17	24		キミガヨラン	0.5			90
E	ウハメガシ	3.7	1.7	0.24	28	C	紅梅	2.2	0.9	0.13	1		ボックスウッド	0.8	0.25		91
J	クロマツ	5.7	2.9	0.55	11	E	シャリンバイ	1.9	1.9		61		アオマサキ	0.6			1,418
O	白梅	3.5	1.9	0.33	2	K	ムクゲ	2.3	1.9		6		コトネアスター	0.15			18
P	マテバシイ	3.7~4.3	3.1~3.6	0.36~0.46	20	O	ボケ	1.0	0.7		4		ヒメウツギ	0.5	0.30		140
Q	ヤブツバキ	4.0	1.5	0.26	5								チヨウセンレンギョ	0.5			55
R	ヤマモモ	3.8~4.0	3.2~3.7	0.45~0.52	5								レンギョウ	0.5			650
C	紅梅	3.1	1.4	0.22	4								ハクチョウゲ	0.3	0.15		780
F	エノキ	4.5	2.1	0.56	1								ジュニペルス	0.4			135
													ハイバクシン	0.4			360
													ハギ	5芽			280
													ユキヤナギ	0.8			280
													ヒラトツツジ	0.3			370
													シャリンバイ	0.8	0.30		650
計					86	計					96	計	(植栽面積	261	m ²)		5,317